

## 教職10年目研修(高等学校、特別支援学校)

区分	基本研修
研修コード	210516
事業主管	栃木県総合教育センター 研修部 TEL 028-665-7202

- 1 目的 教職10年目の段階に即応した教育に関する知識・技能・態度等を身に付け、教員としての資質の向上を図る。
- 2 対象 高等学校、特別支援学校の教職10年目に該当する教員
- 3 研修時間 9:30~16:00 (受付 9:00~9:30)
- 4 研修内容等

区分	期 日		研 修 内 容	会 場	講 師 ・ 助 言 者 等
	月 / 日	曜			
第1日	5 / 21	金	研修オリエンテーション 講話 「10年目教職員への期待」 <b>【高等学校】</b> 講話 「発達障害のある生徒への支援」 <b>【特別支援学校】</b> 講話 「発達障害の理解」 <b>【高等学校】</b> 「教科指導の工夫・改善Ⅰ」 ・教科指導における今日的課題 ・教科別分科会年間計画の説明 ・学習指導要領の理解 ・課題研究の進め方 <b>【特別支援学校】</b> 「学習指導の工夫・改善Ⅰ」 ・学習指導における今日的課題 ・学習指導要領の理解 ・教科別分科会年間計画の説明 ・課題研究の進め方	総合教育センター	県教委教育長 県立学校教員 学校教育課職員 特別支援教育室職員 総合教育センター職員
第2日	6月中		公開授業A 課題研究テーマ設定	所属校	各学校職員
第3日	7 / 23	金	講話 「児童・生徒指導の意義とその在り方」 児童・生徒指導、ホームルーム・学級経営に関する研修 Aコース 「コーチング」 Bコース 「コミュニケーション能力の向上 ～アサーショントレーニング～」 Cコース 「カウンセリングをいかした生徒指導の実際 ～効果的なほめ方・叱り方～」 Dコース 「特別支援学校における、子ども理解・保護者理解」	総合教育センター	大学等職員 県立学校教員 学校教育課職員 総合教育センター職員

区分	期 日		研 修 内 容	会 場	講 師 ・ 助 言 者 等
	月 / 日	曜			
第 4 日	7 / 30	金	講話 「教育関係法規」 <b>【高等学校】</b> 「教科指導の工夫・改善Ⅱ」 ・公開授業のビデオによる授業研究 ・課題研究内容の検討 <b>【特別支援学校】</b> 「学習指導の工夫・改善Ⅱ」 ・課題研究(公開授業の実践を含む)の経過発表 ・指導内容・方法の工夫・改善	総 合 教 育 セ ン タ ー	県立学校教員 教職員課職員 学校教育課職員 総合教育センター職員
第 5 日	8 / 11	水	<b>【高等学校】</b> 「教科指導の工夫・改善Ⅲ」 ・指導と評価の在り方 ・教科経営の在り方		県立学校教員 学校教育課職員 総合教育センター職員
	8 / 23	月	<b>【特別支援学校】</b> 「学習指導の工夫・改善Ⅲ」 ・課題研究(公開授業の実践を含む)の経過発表 ・指導内容・方法の工夫・改善		
第 6 日	夏季休業中		社会体験等研修 下記の中から一つ選択 ○福祉施設体験 ○民間企業体験 ○生涯学習関連施設体験 ○ボランティア活動体験	各 研 修 場 所	各活動場所担当者
第 7 日	9 / 14	火	講話 「人権を尊重した教育活動の推進」 <b>【高等学校】</b> 「教科指導の工夫・改善Ⅳ」 ・課題研究内容の検討 ・情報機器を活用した指導法の工夫 ・中高連携の在り方 <b>【特別支援学校】</b> 「学習指導の工夫・改善Ⅳ」 ・課題研究(公開授業の実践を含む)の経過発表 ・指導内容・方法の工夫・改善	総 合 教 育 セ ン タ ー 	県立学校教員 総務課職員 学校教育課職員 総合教育センター職員

区分	期 日		研 修 内 容	会場	講 師 ・ 助 言 者 等
	月 / 日	曜			
第 8 日	9月 ～ 12月		異校種体験研修 ・異校種における保育、学習指導、幼児・児童・ 生徒指導、学校・学年・学級・ホームルーム 経営の理解	各 研 修 場 所	各学校職員
第 9 日	9月 ～ 12月		選択研修 下記の機関又は団体等が主催する研修及び研究大 会の中からから一つ選択 ○栃木県教育委員会 ○宇都宮大学及び宇都宮大学教育学部附属幼稚園 ・小学校・中学校 ○栃木県高等学校教育研究会 ○栃木県連合教育会 ○栃木県総合教育センター		各研修担当者
第 10 日	1 / 6	木	【高等学校】 「教科指導の工夫・改善Ⅴ」 ・課題研究成果発表会 ・研修自己評価 【特別支援学校】 「学習指導の工夫・改善Ⅴ」 ・課題研究成果発表会 ・研修自己評価 講話 「今、教員に求められるもの」	総 合 教 育 セ ン タ ー	民間人 県立学校教員 学校教育課職員 総合教育センター職員